

留 学 報 告 書

記入日:2016年7月23日

所属学部／研究科・学科／専攻	国際日本学部 国際日本学科
留学先国	ハンガリー
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文: エトヴェシュ・ロラード大学 現地言語: Eötvös Loránd Tudományegyetem
留学期間	2015年9月～2016年7月
留学した時の学年	3年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	人文学部 <input type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2016年7月4日
明治大学卒業予定年	2017年3月
留 学 先 大 学 に つ い て	
形態	<input checked="" type="checkbox"/> 国立 <input type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦	1学期:9月上旬～1月下旬 2学期:2月上旬～7月上旬 3学期: (記入例/1学期:4月上旬～7月下旬, 2学期:9月中旬～2月上旬)
学生数	約3万人
創立年	1635

留学費用項目	現地通貨(フォロント)	円	備考
授業料	0	0円	授業料負担型だったため無料
宿舍費	400000	200000円	
食費	800000	400000円	
図書費	10000	5000円	
学用品費	10000	5000円	
教養娯楽費	300000	150000円	
被服費	100000	50000円	
医療費	0	0円	保険があったため
保険費	214780	107690円	形態:明治大学に斡旋されたもの。11か月分。
渡航旅費	280000	140000円	
雑費	100000	50000円	
その他		円	
その他		円	
その他		円	
合計	2215380	1107690円	

渡航関連

渡航経路: 往路: 成田→ヘルシンキ→ブダペスト 帰路: ブダペスト→ドーハー→成田

渡航費用

チケットの種類	片道チケット
往路	89000 円
復路	52000 円
合計	141000 円

渡航に際して利用した旅行会社やガイドブックを教えてください。

フィンエアー。カタール航空。地球の歩き方。

滞在形態関連

1) 種類(留学中の滞在先)(例: アパート、大学の宿舎など)

大学の寮

2) 部屋の形態

個室 OR 相部屋(同居人数1人)

3) 住居を探した方法:

大学のマネージャーの勧め。

4) 感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

最低限必要なものはそろっているが、大学のキャンパスから若干遠い。一人部屋と二人部屋が選べる。もし部屋が余っているようなら、トラブル回避のためにも一人部屋をお勧めする。

現地情報

1) 現地で病院にかかったことはありますか? 大学内の医務室/診療所や付属病院等で医療サービスを受けることは可能でしたか?

利用する機会が無かった
 利用した: 学外の病院に行った。

2) 学内外で問題があったときには誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか。

特になし。留学中の生活を助けてくれるメンターという現地学生に相談することがあった。

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

外務省のウェブサイトを見たり、大使館からくるメールを確認して危険な場所には行かないことに気を付けていた。ちょうど移民問題やデモの多い時期の留学だったため、どこが危ないかを把握することは重要だった。運のよかったことに巻き込まれたことはないが、アジア人を狙った誘拐事件が起きたということは耳にした。

4) パソコン、携帯電話、インターネット(接続について)現地での利用はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WiFi 接続が可能だったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

寮はパソコンは登録すればインターネットが使えるが、スマートフォンには繋がらなかったため、自室に Wi-Fi ルーターを設置していた。市内の中心や観光地ではフリー Wi-Fi がある。

5) 現地での資金調達はどのように行いましたか? (例: 現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

日本で国際キャッシュカードを作っていて、世界中のどこからでも ATM から現金を下ろせるようにしていた。

6) 現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えてください。

プラグが日本と形が違うため、C のタイプのものを持っていくこと。また、電機関連のものが高価なので、スマートフォンやよく使う電気製品の充電コードなど壊れやすいものは多めに持っていくと便利。

卒業後の進路について

1) 進路

就職 進学 未定 その他:

2) 進路決定の際に参考にした資料、図書、機関など

SPI の参考書や、就活情報誌。また、日本で就活をしていた友人の話など。

3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、或は入社すると決定した企業の名前のみでも構いません)

4)就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスがありましたらお書き下さい。 (例: 留学中の就職活動へ向けた準備, 帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思 い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。)
大学 3 年生という時期に留学したので、苦勞が多いということは覚悟している。さらに、私の留学していた大学はセメス ターの期間がほかの国と違い、遅く始まり、終わったので、日本の学生が通常就活を始める時期以降の帰国となっ た。私は留学に専念しようと思ひ、参考書をながめるくらいのことしかしていなかったが、もし就活をはやく始めたいのな ら、テストの日にちをはやめて帰国を早めるなど、対策はとれた。
5)進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。
6)進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)がありましたらお書き下さい。
7) その他を選択した方は、留学希望者に向けたアドバイスがありましたらお書き下さい。

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
29 単位	<input type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さ い。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Professional Writing	プロフェッショナルライティング
科目設置学部・研究科	人文学部
履修期間	9 月から 1 月まで
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1 週間に 90 分が 1 回
担当教授	Tanko Gyula Dr.
授業内容	さまざまなタイプのペーパーの書き方、句読点の正しい打ち方、ペーパーを書く時のマナーや決 まりを学ぶ。講義なので大教室に生徒がたくさんいる。
試験・課題など	毎週扱うテーマが異なるため、教科書の次の章を読み、問題を解いてくることが課題とされる。 期末に大きな試験がある。1 時間の筆記テスト。期末のテストの難易度は高く、追試が 2 回用意 されている。
感想を自由記入	教科書も詳しく、課題をこなすだけでも今後の学習のためになった。現地の英語に慣れた学生で も知らないような、専門的な知識も得ることができました。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Contemporary Challenges for the Hungarian Society	ハンガリー社会における現代問題
科目設置学部・研究科	社会科学部
履修期間	9 月から 1 月まで
単位数	5
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	セミナー(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1 週間に 90 分が 1 回
担当教授	Gero Marton 他
授業内容	毎週異なるテーマで、ハンガリーまた EU が現代抱える問題について、ディスカッションをする。毎 週担当の教師が変わるため、さまざまな分野の問題を学べる。
試験・課題など	期末にレポートを提出する。13 人ほどの教師の中から、自分の興味のあるテーマを扱った教 師に頼み、レポートを提出する。テーマや長さは教師による。
感想を自由記入	非常に刺激的な授業だった。社会問題に興味があったので、現地でその国の人から講義を受け ることができて勉強になった。テーマもどれも興味深かった。

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Language Practice I			
科目設置学部・研究科	人文学部		
履修期間	9月から1月		
単位数	4		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	セミナー(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に90分が2回		
担当教授	Szabo Helga		
授業内容	一冊の分厚い教科書を使って、英語の文法から発音まで総合的に英語を勉強する。		
試験・課題など	毎回、第何章を解くように、と課題が出され、次の授業はその答え合わせから始まる。抜き打ちの小テストが5-6回ある。		
感想を自由記入	レベルの高い文法を学ぶことができる。週に2回あるのでクラスメートとも仲良くなれる。しかし、私の担当教員が毎回授業に遅刻してきたので、先生は選ぶ必要があったと思う。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Theory of Drama		演劇論	
科目設置学部・研究科	人文学部		
履修期間	9月から1月		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	セミナー(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に90分が1回		
担当教授	Friedrich Judit		
授業内容	主に英語で書かれた文学や演劇について、あらゆる視点から論じる。ディスカッションが主。週によっては、即興劇をやることもある。		
試験・課題など	授業中に2回、演劇の専門用語に関する小テストが2回。期末に口頭で、教師と1対1で試験がある。そのほかにプレゼンテーションをする必要がある。課題は、dropbox にアップロードされた本を毎週読んでくれること。		
感想を自由記入	私の演劇に関する知識が乏しすぎて、ついていくのが非常に困難だった授業である。試験も課題も難しかったが、プレゼンテーションでは日本の演劇について発表し、評判が良かったので、学んだことも多かった。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Globalization and migration		グローバル化と移民	
科目設置学部・研究科	社会科学部		
履修期間	9月から1月		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	セミナー(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に90分が1回		
担当教授	Simonovits Borbala		
授業内容	グローバル化や移民の定義からはじまり、その原因や解決策について学ぶ。ハンガリーでの移民問題などの時事問題についても扱った。		
試験・課題など	ヨーロッパの国に関するプレゼンテーションが1回、ブダペスト在住の移民へのインタビューとその報告、期末に大レポート。		
感想を自由記入	課題も試験も多い授業だったので大変だったが、非常に刺激的だった。実際にインタビューをするなど、ほかの授業ではさせてもらえないような経験ができた。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Cognitive Linguistics		認知言語学	
科目設置学部・研究科	人文学部		
履修期間	2月から7月		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		

授業形態	セミナー(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 90 分が 1 回
担当教授	Szelid Veronika
授業内容	言語がヒトの認知に関わっているかについて考える授業。比喩やことわざから映画のポスターにまで視野を広げる。
試験・課題など	期末に、プレゼンテーションと、そのテーマについて詳しくレポートを一つ書かねばならない。
感想を自由記入	経験や感性を活かすような授業ではなく、学問書を読み進めていくような授業だった。専門用語が多く、日本語でもわからないこともあったが、文化と言語と認知が深く結び付いているということを知った。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Culture and Communication-Skills for Intercultural Communication	異文化間コミュニケーションにおけるスキル
科目設置学部・研究科	人文学部
履修期間	2月から7月
単位数	5
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	セミナー(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 90 分が 2 回
担当教授	Hollo Dorotyya Dr.
授業内容	文化と、それが人々に与える影響について学ぶ。いくつかのシチュエーションや、問題例が挙げられ、それらの解決方法を考えたり、異なるバックグラウンドを持つ人を理解する方法をディスカッションを通して探っていく。
試験・課題など	4つから5つのペーパーを提出しなければならない。自分の実験案の報告や、文献を使ったレポートなど。また、プレゼンテーションが1回と、授業中の積極的な参加が必須。毎週のリーディングは10-20ページくらい。
感想を自由記入	課題と、授業の準備が大変だったが、その分学ぶことが多い。クラスには、ヨーロッパ、アジア、アフリカなどさまざまな国出身の学生がいたので、異文化の理解には最適なクラスだった。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
The (bright)future of Europe:if any	ヨーロッパの(明るい)未来
科目設置学部・研究科	社会科学部
履修期間	2月から7月
単位数	5
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 90 分が 1 回
担当教授	Gyarmati Istvan
授業内容	EU 加盟国をはじめとするヨーロッパの国々の現状や、問題についての講義授業。教授が休んだ日にはディベートのクラスがあった。
試験・課題など	期末に、ヨーロッパの未来をどう考えるかというテーマのレポートを提出する。
感想を自由記入	移民やイギリスの国内問題、テロなどテーマは様々だったが、どれも複雑に絡み合った問題であるということを知った。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Regional and Social Varieties of English	異なる地域、社会での英語
科目設置学部・研究科	人文学部
履修期間	2月から7月
単位数	4
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 90 分が 1 回
担当教授	Eitler Tamas

授業内容	世界のさまざまな国や地域で形を変えて使われている英語、社会階級による話されている英語の違いなどを学ぶ。
試験・課題など	期末に試験がある。課題は、インターネット上にアップロードされた資料を読むこと。
感想を自由記入	発音や表記の違いなどを学べた。アジアで、その土地の人々が使いやすいように英語をアレンジしているということが興味深かった。テストは非常に難関。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。例：語学試験の勉強、選考、出願、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等（形式は箇条書きなど簡単なもので構いません）

2014年 1月～3月	大学 2 年進学。
4月～7月	留学について、大学の冊子を読み始める。外部の留学も考える。
8月～9月	夏休み 少しでも英語に触れたくて、お金を貯めてロサンゼルスに旅行。
10月～12月	明治大学の留学に志願し、留学が決定する。
2015年 1月～3月	冬休み
4月～7月	ビザ等、書類の用意や、手続き。
8月～9月	留学開始
10月～12月	前期終了、テスト期間
2016年 1月～3月	テスト期間、2 月から春セメスター開始
4月～7月	後期終了、帰国。
8月～9月	就活について考え始める。
10月～12月	

留学体験記

留学しようと決めた理由	留学をしようと思ったのは高校生のころからです。漠然と留学の夢を持ち、それを叶えるために留学の実現の可能性が高い明治大学に入学しました。留学を希望した主な理由としては、日本での勉強にも満足していましたが、世界のさまざまな文化背景を持つ人々の考えに触れてみたいと強く感じたためでした。また、ゼミの研究分野が異文化間に生ずる衝突だったため、教室内の日本人だけでなく海外の人の意見を聞いてみたかったということも理由の一つです。
留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備	留学にあたって、語学が一番の不安要素だったので、英会話をインターネットを使って勉強したりしました。しかし、どれだけ準備をしても、語学習得にはきりがなかったように思われます。現地で日本の文化や言語を専攻している学生もいますが、彼らに日本の行政制度などを聞かれた時には、もっと自分の国の知識をつけておけばよかったと思います。さらに言えば、日本だけでなく、世界で何が起こっていて、自分の意見はこうだ、と言えるようにしておけば、さらに良いと思います。
この留学先を選んだ理由	アメリカがおそらく一番人気の留学先だとは思いますが、あえてみんなが選ばなそうなハンガリーという国への留学を決めました。私にとっては、第一言語が英語ではないという点が重要なポイントでした。また、日本とは全く異なる地理学的な要素や、歴史的な要素が非常に魅力的でした。移民について興味があったので、言語のわからない国で生活するという経験をする必要があったし、日本を世界の中心だと勘違いしないように、あえて周辺を他国で囲まれた国に滞在することで、新たな経験をすることができました。
大学・学生の雰囲気	エトヴェシュ・ロラード大学は、ハンガリーでも1, 2位を争う国立の学校であり、首都ブダペストでは最大といっても良いと思います。歴史的な建物も、モダンな建物もあり、学習しやすい環境だと思います。私の所属していた英語で勉強ができる学部以外にも、社会系から理系までさまざまでした。学部によってキャンパスの雰囲気も違いました。学生は、ほとんどがハンガリー人で、残りの数パーセントは留学生でした。留学生は勿論、ハンガリー人の生徒とも、話しかければ仲良くなれる雰囲気でした。
寮の雰囲気	ほとんどの住人がハンガリー人のため、ハンガリー人向けの新入生歓迎パーティのようなものはあったようです。しかし、留学生向けのイベントというものは、私の知る限りなかったと思います。パーティのある日には、夜中の4時まで音楽や騒ぎ声が聞こえました。住人同士が特別仲がいいということはありませんでしたが、すれ違う時に笑顔で挨拶するなど、雰囲気は良かったと思います。私は隣人と仲良くなることができたので、一緒に日本食を作ったり、ご飯を食べたりしていました。
交友関係	留学期間は、ルームメイトが日本人であったり、クラスに日本人がいたこともあり、内向的だったかと思います。しかし、留学に来ている意義を考え直し、その後は自ら積極的に話しかけることを努力しました。言語不安が大きかったのですが、仲の良い子に話しかけたり、授業中に意見を発表することで、次第に慣れていきました。休日にはクラスの友人たちと小旅行に行ったり、パーティに呼んでもらったり、充実した時間を過ごしました。帰国前にひらいたお別れパーティには、たくさんの友人が来てくれたので、自分で輪を広げることがいかに重要かを学びました。
困ったこと、大変だったこと	留学してしばらくして、慣れたと思ったときに、食中毒になったことが大変でした。原因は私というよりは、ルームメイトが感染した後に、私も感染しました。高熱や吐き気が続き、数日学校を休まないといけないということがありました。また、留学中のよくある悩みかと思いますが、友達ができないとか言語に不安があったので、落ち込むこともありましたが、日本の友人に相談の乗ってもらったり、気持ちを切り替えることで克服することができました。
学習内容・勉強について	私の所属学部は人文学部のイギリスアメリカ学科だったので、すべての授業を英語で履修できました。ゼミや自分の興味に関連のある授業を好きなだけとることができました。学部を超えて、社会科学部の、EUやハンガリーの社会問題を扱う授業も教授の許可を得たため履修しました。主に、社会系の授業と、異文化間のコミュニケーションをテーマとした授業を選択しました。そこで学んだ知識やスキルは、授業内だけでなく、実践で生きるものだと考えます。
課題・試験について	基本的には、どの授業でも課題を多かれ少なかれ課されたので、慣れないうちは大変でした。特に、自分の今まで知らなかったことを新しく学ぶ機会には、読むように言われた本を何度も読み直したりと、かなり時間がかかったこともありましたが、ほとんどの授業でプレゼンテーションが必須だったため、それのための準備にも苦労しました。試験は、講義の授業では筆記の試験、セミナーでは口頭での試験かレポートがありました。試験は難易度が高いものもあり、追試が用意されている授業もありました。

大学外の活動について	日本人経営の宿舎での日本語ハンガリー語会話サークルに時間のある時には参加していました。大学では、クラスの人数が多すぎてハンガリー語のクラスを履修することができなかったため、そこでハンガリー語の最低限の知識を得たように感じます。また、ハンガリーという国を深く知るために、国内のあらゆる町に旅行していました。リスト音楽院という音楽大学に通う友人もいたので、その人たちが主催のコンサートにも足を運びました。
留学を志す人へ	留学中に心に留めておいてほしいことは、何を学びにここへ来たのかを忘れないということです。友人関係や学習のことなど、悩みは尽きないと思いますが、その悩みやそれに充てる時間は、留学の目的に何か関係があるのか、どう重要なのかを考えるべきです。だいたいの問題は、悩むに値しない小さなもので、自分が変われば解決できるようなものだと思います。時間は限られているので、時間をいかに有効に使うかが留学成功のカギだと思います。これから行く方には、健康に気を付けて、留学を楽しんでほしいです。

1週間のスケジュール(例)

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
午前中		授業	課題		課題	試験などのないときは、ハンガリー国内の小さな町へ小旅行	友人と会ったり。
	授業	キャンパス移動		授業			
午後	課題	授業	授業	図書館で自習	洗濯や掃除	どこにも行かなかった場合、課題	次の週の課題をこなす
	友人と昼食			授業			
夕刻					友人と夕食		
夜	自習	自習	自習	自習	日本語ハンガリー語会話サークル		

